



アイルランドのORIX Aviation Systems Limited



箱根・芦ノ湖 はなをり



新潟県四ツ郷屋発電所



ほかにはない
アンサーを。



株主・投資家の皆さまへ

2019年 3月期 第2四半期 | No.56

Contents

- | | |
|-------------------|---------------------------|
| 01 ▶ CEOメッセージ | 18 ▶ 社会貢献活動 |
| 07 ▶ オリックスレビュー | 19 ▶ 株主さま広場 |
| 09 ▶ オリックス最前線！ | 21 ▶ 企業情報 |
| 13 ▶ ネクスト・オリックス | 23 ▶ オリックス・バファローズ
ニュース |
| 15 ▶ 世界に広がるオリックス | |
| 17 ▶ オリックス・ピックアップ | |

証券コード:8591

配当性向を30%に引き上げ 引き続き、当期純利益4%～8%成長 ROE11%以上を目指す

2018年12月

取締役 兼 代表執行役社長
グループCEO

井上 亮



01

上期の当期純利益は1,550億円 ROEは11.3%

平素より格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。2019年3月期上期業績についてご報告します。

上期の当期純利益は、前年同期の1,660億円に対して6.6%減の1,550億円、ROE^{*1}は11.3%となりました。PE投資^{*2}先の株式売却益が減少したこと、インドの関連会社で損失を計上したことにより、事業投資事業部門や海外事業部門で前年同期と比べ減益となったことが主な要因です。

通期の当期純利益で前期比4%成長を前提とした場合の進捗率は48%となります。新規投資は順調に推移しており、その増益要因を勘案すると、4%以上の成長は達成可能と考えています。ROE11%以上を維持しつつ、通期での業績目標達成に向かって努力していきます。

今後の成長に寄与する分野への 新規投資

2018年8月に、米国のローン・アセットマネジメント会社であるNXT Capital, Inc.を買収しました。同社は、米国で主にミドルマーケット^{*3}向けのレバレッジド・ファイナンス^{*4}、不動産ファイナンス、投資運用管理事業を行っています。オリックスは、米国においてアセットマネジメント^{*5}事業の拡大を一つの成長戦略と位置付けており、ビジネスラインの多様化を目的として、今後も機能を充実させていきたいと考えています。

10月には、上場子会社である株式会社大京の株式に対する公開買い付けを発表しました。目的は、オリックスの不動産事業との相互補完です。大京は、個人向けの住宅事業におけるノウハウや、建築監理・施工、品質管理、修繕に関するコ

02

スト積算能力など、オリックスとは異なる専門性をもっています。完全子会社化により、両社の垣根を取り除き、より機動的に連携する必要があると判断しました。住宅からオフィス、物流・商業施設、ホテル・旅館など、多種多様な物件の開発・運営力と金融機能を併せもつ、強力かつユニークな総合不動産グループを目指します。

また、11月には、アイルランドのAvolon Holdings Limitedの発行済株式30%を取得しました。同社は、世界第3位の航空機リース会社で、主に航空機メーカーから新造機を購入し、航空会社にリースするプライマリーマーケットに強みを有しています。同社と協業することで、資産規模の拡大に加え、新造機の取り扱いを強化することが狙いです。また、日本の投資家向けのリース事業においても、シナジーが期待できます。オリックスにとって、今後も高い成長が期待される航空機リースマーケットでの一層のプレゼンス向上につなげていきます。

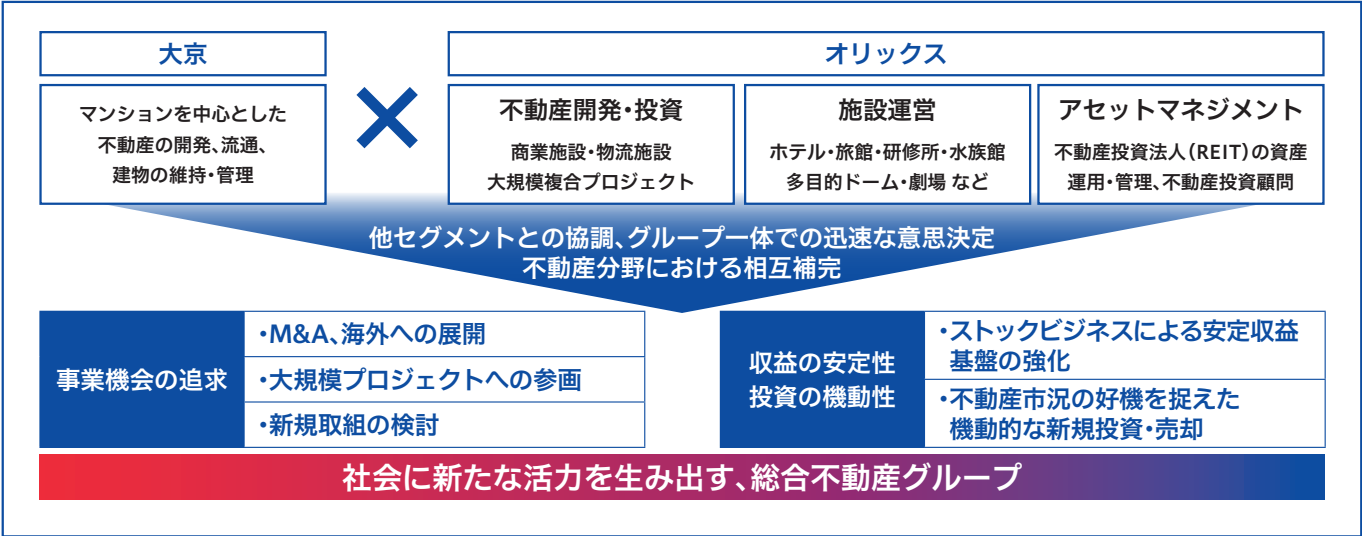
既存事業における新たな展開

オリックス生命の個人保険の保有契約件数が、2018年5月に400万件を超えました。直近の2年間で約100万件増加し、増加率は12期連続で2桁成長を続けています。2018年10月には、主力商品である医療保険「新キュア」において、保険料の引き下げと、新しく追加した特約の販売を開始しています。今後も価格競争力のある保険料水準を維持していきます。

また環境エネルギー分野では、メガソーラーをはじめとする再生可能エネルギー発電所の運営・管理・保守を行うオリックス・リニューアブルエナジー・マネジメントを設立しました。オリックスは、遊休地を活用したメガソーラー事業や、工場や倉庫などの屋根を活用した屋根設置型太陽光発電事業を手掛け、2018年9月末時点で合計最大出力約

大京とオリックスの不動産事業分野との相互補完

- 総合不動産グループとして、オリックスグループ一体での中長期的な成長を目指す
- 海外案件や大規模なプロジェクトに対応できる体制を構築する



1,000MW(メガワット)のプロジェクトを確保しています。新会社を設立し、専門性をもつ人材による発電所の保守点検業務を強化するとともに、発電状況の遠隔監視やデータ分析にも取り組み、発電量の最大化を目指します。また、海外においても再生可能エネルギー事業を拡大するため、ロンドンに拠点を設けて活動を開始しています。



株主還元について

2017年10月に発表した中期的な方向性では配当性向を27%としていましたが、現在の財務の健全性を鑑み、配当性向を30%に引き上げます。

今期、4%以上の利益成長は可能と考えており、4%成長とした場合の通期配当金の予想額は76円となります。これにより、前期比で15%の増加となる10円の増配となります。中

間配当については期初の予想通り30円とします。

また、自社株式の取得については、通期でのROEを念頭に置きつつ、機動的に対応したいと考えています。引き続き、持続的な利益成長に向けた新規投資と、安定した還元との最適なバランスを考慮していきます。

今後とも一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



中期的な方向性(2019年3月期～2021年3月期)

中期的な経営目標

利益成長	当期純利益 年間成長率4%～8%
資本効率性	ROE 11%以上
健全性	信用格付A格
グローバル企業としてのERM ^{*6} 強化	

株主還元の方針

・配当性向は30% (2018年10月26日、配当性向を27%から30%へ引き上げを発表)
・自社株買いを機動的な株主還元として位置付ける

用語解説

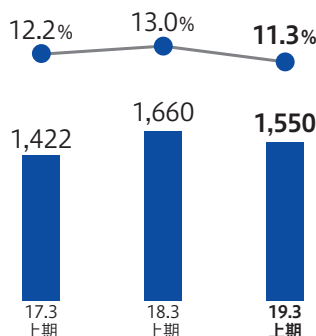
- *1 ROE
株主資本利益率の略。当期純利益を株主資本で除すことで計算される。一般的に、ROEが高いほど、株主資本を効率的に運用できていると判断される。
- *2 PE投資
プライベート・エクイティ投資の略。未上場企業などの株式を取得し、経営をサポートすることで企業価値の向上に貢献し、株式公開や第三者への譲渡など株式を売却することで利益を得る投資手法。
- *3 ミドルマーケット
中堅企業向けの市場。
- *4 レバレッジド・ファイナンス
買収先の将来的なキャッシュフローと資産を担保とする金融手法。
- *5 アセットマネジメント
金融資産や不動産など、さまざまな投資用資産の管理・運用を代行する業務。
- *6 ERM
エンタープライズ・リスクマネジメントの略。企業において発生するさまざまなリスクを全社的に管理する体制。

2019年3月期上期業績

- 中期的な経営目標「当期純利益の年間成長率4%～8%」の達成に向けて、堅調に進捗
- ROEは中期的な経営目標の11%を上回る11.3%
- メンテナンスリース、不動産、リテールの3セグメントが増益

当期純利益*1とROE

■ 当期純利益*1(億円) ● ROE(年換算)



セグメント情報

	法人金融サービス		メンテナンスリース		不動産		事業投資		リテール		海外	
セグメント利益(億円)	220	168	204	206	440	442	389	249	430	492	814	677
	18.3 上期	19.3 上期	18.3 上期	19.3 上期	18.3 上期	19.3 上期	18.3 上期	19.3 上期	18.3 上期	19.3 上期	18.3 上期	19.3 上期
セグメント資産(億円)	10,433	9,664	8,226	8,590	6,289	5,774	8,729	8,931	32,091	33,690	26,544	29,557
セグメント資産ROA*2(%)	2.8	2.3	3.4	3.3	9.3	10.1	6.4	3.9	1.8	2.1	4.2	3.3

*1 「当期純利益」は「当社株主に帰属する当期純利益」を指します。 *2 年換算・税引き後

セグメント別 2019年3月期上期のポイント

法人金融サービス	● リース資産や営業貸付金の減少に伴い金融収益が低下したものの、各種手数料ビジネスによるサービス収入が増加。
メンテナンスリース	● 自動車事業のリース資産が順調に拡大。 ● IT 機器や測定器などのレンタル事業の収益が増加。
不動産	● 引き続き活況な不動産市況を捉え、前年同期並みの不動産売却益を計上。 ● 沖縄や大阪、京都で新たにホテルを開業。
事業投資	● 前年同期に比べて、投資先の株式売却益や取込損益が減少したことにより、利益が減少。 ● 建設中のメガソーラーが順次稼働を開始。
リテール	● 生命保険事業において、保有契約の増加に伴い生命保険料収入が伸長。 ● 銀行事業は、住宅ローンなど営業貸付金の増加に伴い金融収益が増加。
海外	● 米州事業や航空機事業が堅調に推移。 ● インドの関連会社の損失を計上。

最新の事業活動ピックアップをご紹介します。

京都・河原町三条に「クロスホテル京都」を グランドオープン

オリックスグループのオリジナルホテルブランドである「クロスホテル」の3棟目として、「クロスホテル京都」を9月に開業しました。同ホテルは、歴史的建造物や京料理屋が軒を連ねる観光エリアである河原町三条に位置しています。温かみのある木材や柔らかな質感の和紙を使用した落ち着いた客室や、朝食からバートタイムまで時間帯に応じた多様なメニューをラインアップするレストラン「KIHARU Brasserie」をご用意し、お客さまに洗練された空間と心地よいサービスを提供していきます。



「家族信託サポートサービス」を開始

オリックス銀行は、家族のための民事信託（家族信託^{*1}）の組成を支援する「家族信託サポートサービス」を、9月より開始しました。

「家族信託」は、認知症などによって判断能力が低下し、お客さまご自身で財産管理や資産承継についての意思決定ができなくなることへの備えとして、信頼する家族に財産を託す民事信託の制度です。本人のみならず家族の生活を守る後見的な財産管理と、本人の意思に従った円滑な資産承継を可能にします。本サービスでは、東京都港区にあるオリックス銀行本店および東京都中央区にある「ORIX BANK GINZA PLAZA^{*2}」にて、オリックス銀行の専任のスタッフが対面でコンサルティングを行います。

オリックス銀行は、今後もお客さまの利便性の向上につながる新たな商品・サービスを創出していきます。

^{*1} 「家族信託」は、一般社団法人 家族信託普及協会の登録商標。

^{*2} 2018年4月に商業施設GINZA SIX内にオープンしたオリックス銀行初のコンサルティング型店舗。

関西国際空港でスーツケースの リユースサービスを開始

8月より、オリックス環境は関西エアポート株式会社などと共同で、スーツケースのリユースサービスを開始しました。関西国際空港をご利用のお客さまから不要なスーツケースを無料で引き取り、検品・選別し、再利用します。

1998年にオリックスグループのリース終了物件の管理業務などを行う会社として設立されたオリックス環境は、現在では企業が保有する不用資産の総合管理サービス（リユース・リサイクル）を提供しています。またオリックスは、本サービスが提供される関西国際空港の運営に、コンセッション事業として携わっています。

関西国際空港では、放置されるスーツケースの数が増加しており、空港警備の観点から問題視されていました。本サービスにより放置スーツケースを削減し、空港の保安に貢献するとともに、資源の有効活用を推進していきます。

新潟県内最大規模のメガソーラーを運転開始

オリックスは、新潟県内最大規模^{*1}のメガソーラーである新潟県四ツ郷屋発電所の運転を、7月より開始しました。初年度における同発電所の年間予想発電量は60,549MWh（メガワットアワー）で、一般家庭約16,800世帯分^{*2}の年間消費電力に相当します。また、発電所の保守・メンテナンス関連業務の一部を地元企業に委託するほか、発電所を一望できる展望台を建設するなど、地域社会の活性化にも貢献していきます。

9月には、オリックスが開発・運営するメガソーラーの中で最大規模となるOR山口美祢ソーラー発電所の建設に着手しました。今後も、遊休地を活用した太陽光発電や地熱発電などの再生可能エネルギー事業を推進していきます。

^{*1} 2018年7月2日現在。当社調べ。

^{*2} 1世帯当たり3,600kWh/年で算出。出典：電気事業連合会「電力事情について」



自社開発の物流施設を対象に 物流ロボットのフリーレントサービスを開始

5月より、オリックスとオリックス・レンテックが共同で、自社開発の物流施設に入居するテナントを対象に、物流ロボットを6カ月間無償で提供するレンタルサービスを開始しました。物流ロボットのレンタルと活用方法のコンサルティングなどを、パッケージとしてご提案します。

オリックスは、2002年から物流施設の開発を手掛け、40物件の開発実績があります。また、オリックス・レンテックは、計測機器や分析機器のレンタルで培った専門性を生かし、ロボットレンタル事業を展開しています。両社のノウハウを生かし、物流施設の生産性向上と作業員の負担軽減につながるサービスを提供していきます。



オリックスグループ新CM 「ロボットレンタル」篇放映中！

「Do you know ORIX?」をキーワードとする企業CMシリーズの新作として、11月より「ロボットレンタル」篇の放映を開始しました。オリックス社員を演じる女優・川栄李奈さんの先輩として、レンタルロボットの未来まどかがCMに初出演しています。

新CMでは、川栄さんが彼氏と一緒に、イベント会場で勤務中の先輩・未来まどかに会いに行きます。川栄さん、彼氏、未来まどかの3名が繰り広げるコミカルな掛け合いにご注目ください。

オリックスグループが展開する暮らしに身近な事業や生き生きとした社会づくりに貢献する事業を紹介する

本CMシリーズのバックナンバーを、特設サイト「ORIX Channel」にて公開中です。ぜひご覧ください。



その他のトピックス (2018年6月～11月の主なプレスリリース)

- 6月**
- オリックス生命保険 保有契約件数が400万件を突破
 - 米国の公共インフラの設置・保守サービス会社Peak Utility Services Groupを買収

- 7月**
- うめきた2期地区(民間提案街区)開発事業 開発事業者に選定
 - 東名高速道路「厚木IC」より約3kmの物流施設「厚木Ⅱロジスティクスセンター」竣工
 - 大阪府でマルチテナント型物流施設「枚方Ⅱロジスティクスセンター」を開発

- 8月**
- 業界初、AIを活用した個人向け不動産投資キャッシュフローのシミュレーターを導入
 - 米国のローン・アセットマネジメント会社 NXT Capital, Inc. の買収を完了

- 9月**
- 再生可能エネルギー発電所の運営・管理・保守会社 オリックス・リニューアブルエナジー・マネジメントを設立
 - 「宇奈月 杉乃井ホテル」を『黒部・宇奈月温泉 やまのは』に名称変更 ～2019年春リニューアルオープン～
 - 自社開発の移動事務所車(モバイルオフィスカー)、配備台数を倍増

- 10月**
- オリックス生命保険 重症化・再発予防カウンセリングサービスを開始

- 11月**
- 北陸電力エリアで電力小売事業を開始
 - アイルランドの大手航空機リース会社Avolon Holdings Limitedの株式取得を完了

航空機リース事業における新たな挑戦

事業環境の変化を乗り越え、ノウハウを蓄積

約40年間にわたり継続してきた航空機リース事業

グローバル化や中間所得者層の増加により、20年後には世界を飛び交う航空機の数には現在の約2倍になることが予想されています。こうした中で、新規路線の就航に合わせた機動的な機材繰りを可能にする航空機リースが、多くの航空会社で活用されています。

オリックスは、1978年に初めて航空機リースを手掛けて以来、経済環境の変化や地政学リスク^{*1}の高まりといった幾多の困難を乗り越えて、現在まで約40年間にわたり事業を継続しています。1991年にアイルランドに設立したORIX Aviation Systems Limitedを拠点に、機体や航空市場に関する専門知識やノウハウを蓄積。自社が保有する航空機を貸し出すだけでなく、1990年代後半には国内外の投資家や金融機関が保有する機体の管理や再販業務などを受託するアセットマネジメント^{*2}事業にも参入しました。

^{*1} 政治的・軍事的な緊張の高まりから生じ、周辺地域や世界中に与えるリスク。 ^{*2} 金融資産や不動産など、さまざまな投資用資産の管理・運用を代行する業務。

13

世界第3位の航空機リース会社に出資

両社の知見を生かし、さらなる事業成長を目指す

2017年には、アジア地域での航空需要の高まりを受け、香港にORIX Aviation Hong Kong Limitedを設立しました。同社を中心に、アジア地域の航空会社との関係を強化しています。

また、2018年11月には、世界第3位の航空機リース会社であるAvolon Holdings Limited（以下、Avolon）の発行済株式の30%を取得しました。難易度の高い中古機など、多様な機体の取り扱いに強みをもつオリックスに対して、Avolonはメーカーから購入する新造機のリースに強みをもっています。両社の知見を生かし、今後もさらに事業を拡大していきます。



オリックス株式会社
輸送機器事業本部
航空事業グループ長
北川 慶

リースで培ったノウハウを生かし アセットマネジメント事業も展開

オリックスは、マーケット環境を見極め、機体のポートフォリオ^{*3}を入れ替えながら、リース期間が終了するまで緻密に対応し、利益の最大化を目指しています。最近では航空業界が好調なため、新たに参入した投資家からアセットマネジメントの相談を受ける機会も増加しています。

^{*3} 収益性や安全性を考慮した保有資産の組み合わせ。

香港に新たな拠点を設立し アジア地域の航空会社との取引を拡大

香港は、アジア有数の国際金融センターであることに加え、現在航空需要が顕著に高まっている中国や東南アジアなどに5時間程度でアクセスできることが魅力です。日本やアイルランドから出向している社員と、現地採用の社員が連携しながら、現在アジア地域で台頭している格安航空会社などとの取引を強化しています。



ORIX Aviation
Systems Limited
CEO

James Meyler

14

中華圏での投資事業を拡大

香港のORIX Asia Capitalを中心に展開

成長が見込まれる領域でのPE投資事業

香港は、1971年にオリックスグループが初めての海外現地法人を設立した地です。進出当初から展開しているローカル企業向けの金融サービスに加え、ORIX Asia Capital Limited(以下、OAC)を中心に、今後の成長が見込まれる領域でのPE投資*1に取り組んでいます。

中国では、個人の資金需要の高まりを受けて、金融機関が与信審査に用いる信用情報を必要とする機会が増加しています。こうした動向を受けて、2018年3月には、個人信用情報サービス会社であるWecash*2に出資しました。同社は、ビッグデータを人工知能により分析し、個人信用情報として金融機関に提供する事業を行っています。

また、自動車の保有台数が大幅に増加し、駐車場の整備が社会的な課題とされる中で、駐車場の運営・管理事業を行う首長国際*3に出資しました。首長国際は、オリックスが2018年9月に戦略提携合意書を締結した首鋼集団*4の子会社です。首鋼集団とは、今後もインフラや環境関連など多様な領域で連携し、新規事業の創出やPE投資に取り組んでいきます。

*1 プライベート・エクイティ投資の略。未上場企業などの株式を取得し、経営をサポートすることで企業価値の向上に貢献し、株式公開や第三者への譲渡など株式を売却することで利益を得る投資手法。
*2 北京閃銀奇異科技有限公司 *3 首長国際企業有限公司 *4 首鋼集团有限公司

豊富な専門知識とネットワークが強み 着実に投資実績を積み上げ

OACでは、中華圏の経済や慣習に精通したローカル社員を中心に現地経済の動向や社会のニーズを見極めながら、投資事業を展開しています。香港、北京、上海、シンガポールのオフィスを行き来する約40名のローカル社員の中には、世界各国の投資銀行やコンサルティング会社での勤務経験や、MBAや公認会計士の資格を保有するメンバーも多く、投資やファイナンスに関する豊富な専門知識と幅広いネットワークが強みです。こうした強みを武器にもつローカル社員を、長年にわたる中華圏での事業実績をもつ東京本社の中華圏グループや、多彩な専門知識をもつ関連部署がサポートすることで、着実に投資実績を積み上げています。



OACでは、温かい雰囲気の中で、社員がチームで協力しながら、業務に取り組んでいます。投資事業を通してさまざまな業界の企業と接点をもつことができるため、学ぶことが多く、とても刺激的な職場です。幅広いプロジェクトに携わることができるだけでなく、研修や評価の機会も充実しており、社員は前向きに専門性の向上に努めています。

ORIX Asia Capital Assistant Manager 王雯頤(Wendi Wang)



香港豆知識

香港でおすすめの食べ物といえば、点心です。エビがたっぷり入った餃子や鶏肉の煮込みなどのさまざまな料理を、温かいお茶と一緒に楽しめます。

また、エッグタルトもおすすめです。イギリスのお茶菓子であるカスタードタルトを中華料理風にしたもので、卵の風味が豊かなカスタードクリームがたっぷり入っていることが特徴です。



オリックスグループ初の新築旅館

「箱根・芦ノ湖 はなをり」の魅力をご紹介します

2017年8月に開業した「箱根・芦ノ湖 はなをり」。全国8カ所で旅館を運営するオリックスグループが培ってきたノウハウを結集し、雄大な温泉とこだわりの食事による「大きくかつろぎ」をお客さまにご提供しています。



水盤テラス

水盤テラスに設置されたソファに腰かけ、芦ノ湖を眺めながらくつろぎのひとときをお過ごしいただけます。

ブッフェダイニング「季しかり」

四季折々の箱根の自然の恵みを「新感覚」で味わう和食を中心としたブッフェダイニングです。

四季の露天風呂 棚湯

四季折々の風情を感じる庭園や雄大な芦ノ湖を望みながら、箱根の名湯を堪能できる開放的な露天風呂です。

Social Contribution Activities 社会貢献活動

オリックスグループ社員もボランティアとして参加

オリックス宮内財団が行う社会貢献活動

オリックス宮内財団は、事業活動だけではカバーしきれない領域でも企業としての役割を果たし、真に「豊かな社会」の実現に寄与することを目的に、さまざまな支援活動を行っています。

2018年7月には、作曲家の宮川彬良氏の指揮によるクラシックコンサートを開催。関西地区の特別支援学校・学級の子どもたちとご家族、児童養護施設の児童と職員の方々など約3,500名を招待し、フルオーケストラの魅力に触れる機会を提供しました。当日は、オリックス業務支援*の社員が受付を担当し、招待状の確認やプログラムの配布を行いました。

また、8月には、キャンプ地である宮崎で初めて開催されたオリックス・バファローズの公式戦に、県内の特別支援学校・学級の子どもたちとご家族、児童養護施設の児童と職員の方々など約300名を招待しました。当日は、オリックス 宮崎支店の社員がボランティアとして参加し、地域の皆さまとの交流を深めました。これからも全国各地の子どもたちに、文化や音楽、プロスポーツなどに触れる機会を提供し、次世代の育成に貢献していきます。

*障がい者雇用を促進するため設立されたオリックスの特例子会社。書類の封入や発送などの事務補助業務を担当し、オリックスグループ各社をサポートしている。



©HIKAWA

株主さまから寄せられたご質問にお答えします。



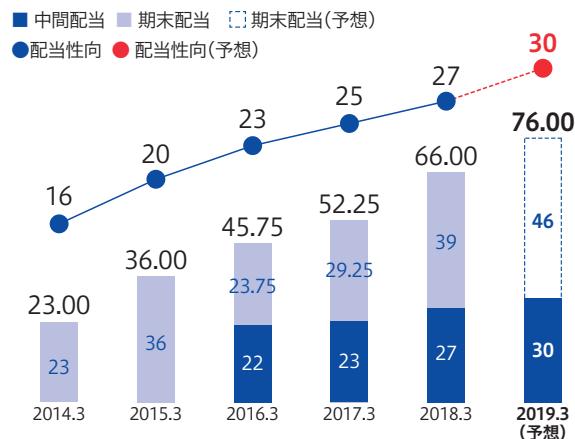
配当金や配当性向など、株主還元について教えてください。



事業活動で得られた利益を主に内部留保として確保し、事業基盤の強化や成長のための投資に活用することにより、株主価値の増大に努めていきます。同時に、業績を反映した安定的かつ継続的な配当を実施します。

これらの基本方針のもと、2019年3月期の中間配当額は30円としました。また通期の配当性向を27%から30%に引き上げ、通期配当予想額を76円としています。この予想額は前期比で15%の増加となる10円の増配となります。

1株当たり配当金(円)と配当性向(%)



社外取締役はオリックスをどのように見えていますか。



オリックスグループサイトに掲載している「統合報告書2018」には、社外取締役のロバート・フェルドマンと新浪剛史のインタビューを掲載しています。ぜひご覧ください。



https://www.orix.co.jp/grp/company/ir/library/annual_report/index.html

オリックスグループサイト トップページ > 企業情報 > 投資家情報 > IR資料室からご覧いただけます。



メール配信サービスはありますか。



個人投資家の皆さま向けのメール配信サービスを行っています。ニュースリリースなどのお知らせをタイムリーに配信していますので、以下のリンクよりぜひご登録ください。



<https://rims.tr.mufig.jp/?sn=8591>

オリックスグループサイト トップページ > 企業情報 > 投資家情報 > 個人投資家向けメール配信サービスからご登録いただけます。

IRスケジュール (本スケジュールは予定であり、変更になる可能性があります。)

2019年	1月	2019年3月期 第3四半期決算発表
	5月	2019年3月期 通期決算発表
	6月	第56回 定時株主総会 開催
	7月	2020年3月期 第1四半期 決算発表
	10月	2020年3月期 第2四半期 決算発表

会社情報 (2018年9月30日現在)

会社名	オリックス株式会社
設立	1964年4月17日
代表者	取締役 兼 代表執行役社長・グループCEO 井上 亮
従業員数(連結)	33,168名
事業内容	多角的金融サービス業
拠点数*	国内 1,465拠点 海外 753拠点

* 世界38カ国・地域に展開しています。

株式情報 (2018年9月30日現在)

発行会社	オリックス株式会社
発行可能株式総数	2,590,000,000株
発行済株式の総数	1,324,629,128株
株主数	322,525名

所有者別株主構成比(株式数)

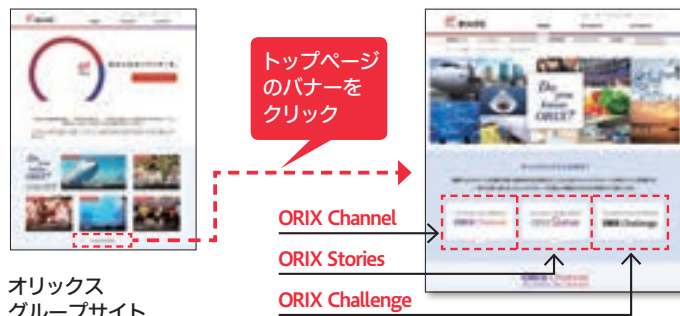


「オリックスグループサイト」についてご紹介します。

ブランドライブラリー「Do you know ORIX?」

「Do you know ORIX?」でお馴染みのCMシリーズなどをご覧いただける「ORIX Channel」、オリックスグループで働く人たちの物語を紹介する「ORIX Stories」、新たな領域へと挑戦をつづけるオリックスグループのビジネスについて紹介する「ORIX Challenge」の3つのコンテンツを公開しています。

<https://www.orix.co.jp/grp/company/brand/doyouknow/>



株主メモ

株主名簿管理人

三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1

0120-232-711 受付時間:9:00~17:00(土・日・祝日休み)

上場金融商品取引所

東京証券取引所市場第1部[8591]
ニューヨーク証券取引所[IX]

株主事務に関するお問い合わせ先

株主さまの各種お手続き(住所変更、配当金の振込指定、単元未満株式の買取・買増請求など)の窓口については、ご所有の株式が記録されている口座によって異なりますので、ご注意ください。

証券会社口座に開設されている株主さま

お取引口座のある証券会社にお問い合わせください。

「特別口座」に記載されている株主さま

当社の口座管理機関(兼 株主名簿管理人)である三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部(上記)にお問い合わせください。

投資家情報「個人投資家の皆さまへ」

決算資料やIRカレンダー、株主優待に関する情報を掲載していますので、ぜひご覧ください。

また株主通信「悠」のバックナンバーを、2008年3月期号から20冊分公開しています。

<https://www.orix.co.jp/grp/company/ir/individual/>



西村徳文新監督からのメッセージ

来季よりオリックス・バファローズの指揮を執ることになりました。私に課せられた役割は、バファローズを優勝争いできるチームにすることです。選手個々の技術向上はもちろんですが、野球界では攻めの気持ちは何よりも重要です。積極的、アグレッシブになってこそ、結果はついてきます。ペナントレースを制するために、コーチ、フロントを含めチーム全員が同じ方向に向いて戦うことにこだわるつもりです。最後になりますが、ファンの皆様のご声援が一番大きな力です。大切なファンの皆さまのさまざまな思いに応えられるよう、情熱をもって率いていきます。



©ORIX Buffaloes



2018年プロ野球ドラフト会議



太田 稜選手(右)と父の暁氏(左)

10月に行われたプロ野球ドラフト会議。未来のバファローズを担う7選手を指名しました。一巡目の太田稜選手は、バファローズの一軍打撃投手を務める父・暁氏との親子二代のプロ野球選手。打撃センスと高校屈指の守備力に加え、人望も厚く、将来の中心選手として期待される内野手です。さらに即戦力や地元出身選手を指名し、早くも来季が楽しみとなる補強となりました。

オリックス株式会社
経営計画部
グループ広報部

〒105-6135 東京都港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル
URL : <https://www.orix.co.jp/grp/company/ir/>